

山江村議会だより

No.101

まるおか



山田小5年生の田植え体験



目次

- | | |
|----------------|-----------------|
| ○第4回定例会……………P2 | ○議員活動報告……………P7 |
| ○一般質問……………P3～6 | ○編集後記「だんだんなあ」P8 |

令和8年7月31日発行

発行:山江村議会

編集:広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1

☎(0966)23-3401

FAX(0966)24-5669

山江村域内電話 ☎23-3401

令和 8 年第 4 回 山江村議会定例会

令和 8 年 6 月 10 日から 12 日までの 3 日間、第 4 回定例会を開催し、繰越明許費などの報告 2 件、令和 7 年度補正予算の専決処分事項の承認等 8 件、同意 1 件、条例改正 3 件、令和 8 年度補正予算 3 件の合計 15 件を可決しました。

令和 8 年度一般会計補正予算は 15,178 千円の追加、また簡易水道事業会計補正予算は 6,000 千円の追加、そして農業集落排水事業会計補正予算は、3,579 千円の追加が可決されました。

可決した主なものは

■ 山江村農業委員会委員の任命に関する同意

任期満了に伴い、上程された 8 名を適任者と認め同意することに決定した。

◆ 令和 8 年度山江村一般会計補正予算（第 1 号）

歳 入

地方交付税	特別交付税	12,375 千円
国庫補助金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業補助金	1,054 千円
	地域未来交付金	▲11,500 千円
繰入金	繰入金（ふるさと応援基金）	11,500 千円

歳 出

企画総務費	会計年度任用職員給料	2,326 万円
障がい者福祉費	システム改修委託料	1,078 千円
商工費	会計年度任用職員給料	4,652 千円
文化財保護費	石蔵跡地整備工事	1,600 千円
保健体育総務費	地域スポーツクラブ活動推進事業補助金	1,635 千円
	…など	

◆ 令和 8 年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）

支 出

修繕費	第 2 水源地制御盤修繕	6,000 千円
-----	--------------	----------

◆ 令和 8 年度山江村農業排水事業会計補正予算（第 1 号）

支 出

総係費	賞与等	2,469 千円
	…など	



横谷 巡 議員



■ 児童生徒の安全確保を図る対策について

■ 今後の村営住宅施策の方向性は！

■ 旧J A山江育苗センター跡地購入について

本村における児童生徒の登校確認は

問

京都南丹市での男児父親による死体遺棄事件は、男児の通う学校での登校確認が不十分であった。本村における登校確認の状況は。

答 教育長

見守りボランティアによる安心安全な登校への協力、登校確認については毎朝の健康観察を行いながら、登校確認と心身両面の様子観察を行っている。欠席確認は、連絡用通信アプリで保護者と迅速な連絡をとり、状況把握を確実にしている。



通学路の危険箇所点検と安全確保対策は

問

通学路での倒木やかぶり木、枯れた竹、交通安全施設等の安全確保対策の状況は。

答 教育課長

危険箇所等の情報を基に、関係機関で連携し、合同点検を行ない、危険箇所はその場で対応するなどの安全対策を行っている。

村営住宅の老朽化や建替え等住宅整備は

問

村営住宅の老朽化や建替え、リフォーム、入居率の低い住宅の整備など、今後の方向性について伺う。

答 建設課長

本年度においては柳野団地の外壁、屋根の補修設計業務委託、新寺の下、林田

団地を統合した建替え事業の用地買収と建替え全体の設計計画を進める。

他の住宅についても、補修事業を計画的に進め、居住環境の確保に努めている。

永シ切団地の払い下げ計画はあるのか

問

永シ切団地の一部は払い下げが行われているが、耐用年数を経過した残りの住宅も譲渡が可能ならば、払い下げしてもいいのではないかと考えるがどうか。

答 建設課長

平成30年に21戸の払い下げを行い、39戸が残っている。

現在、払い下げ希望の方などのくらいおられるのか、代表者に把握をお願いしているところである。払い下げの要望書などで確認しながら、検討していきたい。

旧J A山江育苗センター跡地購入の考えは

問

J Aが売却する旧J A山江育苗センター跡地は、場所、環境、面積においても、企業誘致や村民の健康づくりを図るスポーツ交流の場など、他用途への活用が期待される物件であると考えますが、村で購入する考えはないか。

答 企画調整課長

この用地は国営川辺川造成団地の一部であり、農振地域、地目は農地畑である。

土地改良法上、地目変更ができない難しい課題があるが、地元の立地企業も工場を造り、雇用を増やしたい意向もあり、農水省、県、企業ともその方向性の調整を図りながら、見つけていきたい。



北田 愛介 議員



■ 学校再編問題を問う

■ 林業施設災害を問う

■ 小中学校の安全管理を問う

学校再編に向けた検討状況は

問

小中学校再編に向けた検討委員会において「答申書」を村長へ提出されているが検討状況と具体的な内容を伺う。

答 教育課長

令和7年7月に「山江村小中学校再編検討委員会」令和6年度に「学校給食共同調理施設整備検討委員会」を設置し5回の審議と先進地研修を行い、本年3月26日に村長へ「答申書」を提出した。

提言は、「教育課程の刷新と義務教育学校の設置」「地域コミュニティへの配慮と跡地活用」。9年一貫教育を行う義務教育学校の設置と「4・3・2制」の導入により5年生からの教科担任制を導入して中一ギャップを解消し専門性の高い教育環境を確立する。学校跡地は有効活用して地域活性化の契機とする。また、学校給食調理場も一体的に整備する。

「小中一貫校」と「義務教育学校」の違いは？

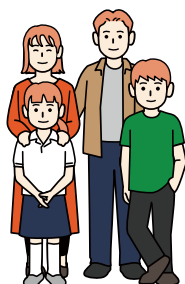
問

これまで、学校再編に対し「小中一貫校」と一括りにしていたが、「義務教育学校」との違いを伺う。

答 教育課長

「小中一貫校」は小学校と中学校の独立性を保ちながら連携して一環教育を行う。学校はあくまで小学校と中学校の2校方式で校長や教職員も原則別々。

「義務教育学校」は一つの独立した学校で校長は一人、小学校と中学校の全教員が一つの組織である。カリキュラムの編成も柔軟で小学校6年、中学校3年ではなく、9年間の一貫教育過程であり「4・3・2制」など、子供の心身発達に適したカリキュラムを構築・実施することができる。



問

制度のメリットとデメリットを伺う。

答 教育課長

小中一貫校は既存の小中学校の独立性を保ちながら行う。培った校風や地域との結び付きを生かせるので導入ハードルが低い。

しかし、校長が複数存在し、教職員組織や教員の人事・異動サイクルが別々であるため、9年間のカリキュラムの共有や合同行事の調整に時間がかかり「組織の壁」が残りがやすい。カリキュラムの柔軟な変更に限界がある。

義務教育学校は、9年間の義務教育を一つの学校で一体的に行うことができ一貫した指導体制が確立できる。中学校の専門教員が小学校段階から指導し学力の向上が期待でき、環境の急激な変化に伴う不登校なども構造的に解消出来る。

小中学校再編に対する方向性、方針は？

問

今後の学校再編に対する方向性、方針を伺う。

答 教育課長

学校再編方針として、集団教育の規模を維持することで、多様な人間関係の中で切磋琢磨出来る環境を確保。小学校から中学校進学時の不登校や学力低下を防ぐ。山江村への愛着を育み地域密着型カリキュラムを体系的に維持し「ふるさと教育」に取り組む。本年度「山江村学校再編基本計画」を策定して、令和12年度開校を目指す。児童生徒の課題を9年間通してサポートする体制を構築する。

異年齢交流による豊かな人間性の育成を図る。

今後、保護者、地域住民、関係者を交えた説明会を開催する。施設一体型の校舎により、9年一貫の義務教育学校を目指す。



立道 徹 議員



■ メディカルフィットネスセンターについて ■ 「栗の駅」事業について ■ 指定ゴミ袋について

メディカルフィットネスセンターについて

問

交付金の補助を頂き、今年の8月夏頃に、オープンする予定であったが、交付金を頂けなかった理由について。

答 健康福祉課長

事業推進における行政自体の直接的な関与や、主導的な管理・ガバナンス体制（統治の仕組み）がやや見えにくい」との指摘により不採択になった。
しかし、計画を目指す理念そのものが否定されたわけではない。

問

当初予算を作成される上で確実に交付金の内示を得て、計上すべきではないか。

答 健康福祉課長

この交付金の申請要領において、あらかじめ対象経費を予算計上していることが申請の必須要件として定められていた。
この事業が動き出したの

が1月であったので前年の12月に閣議決定、令和8年度の予算が決定する。1月では、遅く、要望活動ができなかった。

問

今後の動きは。

答 健康福祉課長

県の事前相談、事前協議をしていきながら、この交付金の令和9年度の採択を目指していく。

「栗の駅」事業について

問

栗の駅整備事業に係るプロポーザルを公募されたが、不調になった理由は。

答 企画調整課長

①急激な物価高騰による事業費の乖離。
昨今の急激な物価高騰や、人件費の上昇により、事業者が試算した工事費が村が提示した支払上限額を大幅に上回ってしまったことが最大の要因。
②工期設定の厳しさと資材供給の不安定化。

当初予定していた、令和9年3月完成のスケジュールでは、建築資材の供給遅れや物流の混乱といった社会情勢から、事業者側において、短い工期での確実な完成は困難と判断されたため。

問

今後の対応は。

答 企画調整課長

①適正な事業費見直し
②確実な財源確保
③資格要件の緩和
④十分な期間の設定
右記のことを踏まえ、9月上旬の再公募に向け、構築していく。

問

今後の予定は。

答 企画調整課長

当初は、令和9年4月のオープン予定であったが、採択された民間事業者との打合せを行い、最適な工期を決定する。

問

国からの交付金の上乗せはできるのか。

答 企画調整課長

国は、物価高騰に伴う財源確保については支援すると言っているが満額になるかわからない。
確保に向け努力する。

指定ゴミ袋について

問

村民不可欠公共料金ともいえる「指定ゴミ袋」の値上げに踏み切る理由は。

答 健康福祉課長

世界情勢の緊迫化に伴う「原油価格の高騰」及びナフサ不足によるゴミ袋自体の製造コストの大幅な上昇が要因。

問

ゴミ袋の印刷等は、なくして透明の袋にすればどうか。

答 健康福祉課長

7月頃に広域行政組合担当者課長会議にて、人吉球磨広域全体でゴミ袋統一化に向けた提案と働きかけを發していく。ほとんどの町村も統一化を考えている。



白川 俊博 議員



■ プラごみの分別は、今後検討

■ 「栗の駅」公設民営施設は、民間事業者へ長期委託

■ 警戒レベル4で避難指示、危険場所から全員避難へ

プラスチックごみ分別は
前向きに検討して行く

問 近年における一般廃棄物の排出量と村の負担金の状況は。

答 健康福祉課長

令和7年度の排出量は可燃ごみ592t・不燃ごみ30tで共に年々減少、資源ごみは66tで増加気味。負担金は3、938万円と増加傾向にある。

問

可燃ごみとして排出されるプラスチック類の現状は、またプラごみ分別は可能か。

答 健康福祉課長

リサイクル可能なプラスチック類は可燃ごみとして回収している、プラごみの分別は地域懇談会でも要望があっている。先行して実施している人吉市を視察し村単独で検討しているが、広域行政組合での新ゴミ処理施設建設予定もあり長期的コストバランスを見極め処理方法を検討して行きたい。



可燃ごみの中は、約4割がプラスチック類

問

可燃ごみ扱いのプラスチック類の分別・仕分けを促すよう住民に周知しては。

答 健康福祉課長

仕分けしても本村は可燃ごみとして搬出という形になっているので、今後前向きに検討して行きたい。

「栗の駅」事業は一括して長期間、民間へ委託するPFI方式を採用

問

今回取り組む「栗の駅」整備事業のPFI方式とは、そのメリットは。

答 企画調整課長

設計・建設・維持管理・運営など一連の業務を民間事業者に一括して長期間委託

託する官民連携事業で、民間ならではのアイデアなど質の高いサービスの提供が期待され、コストの削減と建設から運営まで効率的な維持管理が可能となり費用全体を抑えることが出来、村の財政負担の軽減と平準化が期待される。



事業開始が待たれる栗の駅造成地

問

令和8年度に整備する事業の内容は。

答 企画調整課長

栗の駅の施設整備では直売所やカフェ、公園を備えた「商業・にぎわいゾーン」と「コミュニティゾーン」の建設に着手、旧くり選果場の解体と農産物の集出荷施設「産業支援ゾーン」の設計を進める。更に再生可能エネルギー事業では、太陽光発電設備を「栗の駅」と「山江村体

全地区版防災マップの冊子を全戸に配布

問

今年度地域防災マップの作成に取り組む行政区はどこか。

答 総務課長

令和4年度から取組んだ行政区ごとの地域防災マップは7年度で完了した、今年度は全地区版を1冊にまとめた冊子を全戸に配布する。

問

例年行っている防災訓練等は、今年も計画されているのか。

答 総務課長

令和6・7年度は大地震による被害の避難訓練等を実施した。本年度は9月から10月にかけて大雨等を想定した災害訓練を計画したいと考えている。

育館」に設置、山田蔵野地区の村有地に大型の一系統用蓄電池」整備する。

令和9年度主軸事業要望

令和8年4月23日、村長、全議員、事務局の13名で、衆・参両議院の国会議員へ要望活動を行いました。今回要望した項目は以下のとおりです。

1. 企業誘致の推進について
2. 国土強靱化の推進等について
3. 農業農村整備事業等の促進について
(1) 山江地区
4. 森林整備事業の拡充強化について
5. 野生鳥獣被害対策について
6. 地方創生2.0の推進について
7. 過疎地域における地方道路の維持管理に対する支援の拡充について
8. 人口急減地域における定住促進を図るための規制緩和について
9. 公営住宅の整備促進について
10. 教育ICT環境の高度化による「新しい学びの場」の創造事業の推進について



国会要望活動

また、翌24日は、国会議事堂内第18委員会室で行われた、国土交通委員会を視察しました。

令和8年度総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会合同視察研修

令和8年5月14日、全議員、事務局の12名で、福岡県田川郡香春町の香春思永館を研修しました。児童生徒数の著しい減少、学校施設の老朽化など本村同様の課題があった香春町は、4つの小学校と2つの中学校を統合し、令和3年に、9年生の施設一体型義務教育学校「香春町立香春思永館（かわらしえいかん）」を開校しました。

本村においても、小中学校再編検討委員会が設置されており、令和12年の義務教育学校の開校を目指していますが、その手法やノウハウを学べた有意義な研修となりました。

また、翌15日は博多国際展示場で行われた「地域×Tech九州」を視察しました。このイベントは自治体が抱える課題を解決するため、出展企業との出会いから、その改善や導入の機会となるよう開催されたものです。

このイベントの中で内山村長がセミナーの発表者として招聘され「校務DX化で年間150時間の時間外労働を削減！」と題し講演がなされ、全議員が聴講しました。



香春町思永館での研修の様子



内山村長の講演を聴講

令和 8 年第 5 回山江村議会臨時会

令和 8 年 7 月 27 日山江村議会臨時会が開催され、以下の議案が可決されました。

■財産の貸付について

山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」事業において、村が所有する財産を貸し付けることについて、地方自治法の規定により議会の議決を経る必要があるため提案されたもの。

■令和 8 年度山江村一般会計補正予算（第 2 号）

歳入における国庫支出金、及び村債の増額、また歳出における簡易水道事業会計繰出金、ポンプ操法大会報奨金、災害復旧工事測量設計業務委託料の増額など。

■令和 8 年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第 2 号）

簡易水道使用料減免（7 月使用分～9 月使用分）、及び地域水道への補助に係る収益的収入の追加（一般会計からの繰出金の受入）。

令和 8 年度 町村議会正副委員長研修会

令和 8 年 7 月 17 日、熊本県町村議会議長会が主催する「令和 8 年度町村議会正副委員長研修会」がオンラインで開催されました。会場を議事堂とし、東京都市大学大学院特任教授・横浜市立大学名誉教授齋藤広子氏を講師に「民間を活用した空き家の利活用について」を演題として講演がありました。



だんだんなぁ

厳しい暑さが続く中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

8 月は夏本番を迎える一方で、台風シーズンが本格化する時期でもあります。

近年は台風や線状降水帯による大雨など、予想を超える気象災害が発生することも少なくありません。

いざという時に慌てることのないよう、避難場所や避難経路、家族との連絡方法をあらかじめ確認しておくことが大切です。また、自治体から発令される避難情報や気象情報に日頃から関心を持ち「早めの避難」を心がけましょう。あわせて、熱中症への警戒も引き続き必要です。こまめな水分補給や適切な休憩、エアコンの活用など、無理のない暑さ対策を心がけ、この夏を元気に乗り切りましょう。

本号の表紙は、元気がいっぱい田植えをしている「山田小学校」の児童たちの様子です。わたくしたちも子供たちからの元気をいただきながら頑張っています。

暑さ厳しき折、どうぞ健康に留意され、充実した夏の日々をお過ごしください。

文責 本田 りか
【山江村議会広報編集特別委員会】

委員長 本 田 りか
委員 員 白 川 俊博
久保山 直巳
北 田 愛介

お詫びと訂正

議会だよりまるおか 1000 号の中で間違いがございました。訂正してお詫びいたします。

P 2

（誤）山江村・万江村
（正）山田村・万江村